

# 「あなたはどう思いますか？研究のためのヒト受精卵の作成」 ネットアンケートの結果集計



[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [総合科学技術・イノベーション会議](#) > [専門調査会](#) > [生命倫理専門調査会](#) > ネットアンケート「あなたはどう思いますか？研究のためのヒト受精卵の作成」

## ネットアンケート「あなたはどう思いますか？研究のためのヒト受精卵の作成」

新しい技術や研究手法が登場すると、それによって治療法がなかった病気が治せるようになり、予防できるようになることに期待が高まります。患者さんには大きな希望となりえますが、医療として使えるようにするには、病気で何が起きているのか、どういう医療行為が安全で効果的なのかを知るための研究が必要です。その際、ヒトの細胞などを使ったり、誰かに参加してもらったりする場合には人の尊厳や人権に関わるような生命倫理上の問題や、安全性の問題等に適切に対応するための一定のルールが必要です。

国は、研究者が守るべきこうしたルール（法律や指針など）を作っています。これらのルールは科学や技術の進歩に伴い、見直しや追加が必要になります。今回は、ヒトの受精卵を新たに作って行う研究について、皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局  
日本科学未来館  
ネットアンケート実施期間：2021年8月2日～31日

# アンケート項目について

(1) 日本では、ヒトの受精卵を研究に使うことを、一定の条件のもとで一部認めています。このことをご存知でしたか

(2) 研究のために新しく受精卵を作り、研究に使うことをどう思いますか？ もっとも近いと思われる考えを選んでください

ア 研究目的や条件を限定せず、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使ってよい

イ 動物実験でわからないのであれば、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使うのはやむを得ない

ウ 新しく受精卵を作り、研究に使うならば、研究の目的は限定すべき

エ 研究のために新しく受精卵を作ることに抵抗がある (3)にご意見を記載してください。

オ 新しく受精卵を作ることに限らず、ヒトの受精卵を研究に使うべきではない (3)にご意見を記載してください。

カ そのほか (3)にご意見を記載してください。

(3) 自由にご意見をお書きください(自由記入欄)

(2)で、イ、ウを選んだ場合は、次の(4)と(5)の質問に進んで下さい。

(4) どのような研究目的ならば、新しく受精卵を作り、研究に使ってもよいと思いますか？

ア 不妊治療の研究ならばいい

イ 遺伝する病気や難病など、治療方法がない病気の研究ならばいい

ウ 他に治療方法がある病気の研究でもいい

エ 頭を良くする、スポーツが得意になるなどなりたい人間をデザインすることに将来つながる研究も含め、どんな研究でも人のためになるのならばいい

オ 遺伝する病気や難病などがあっても、生まれる前に性質を変えるのは反対だが、生まれた後の治療法開発につながる研究ならばいい

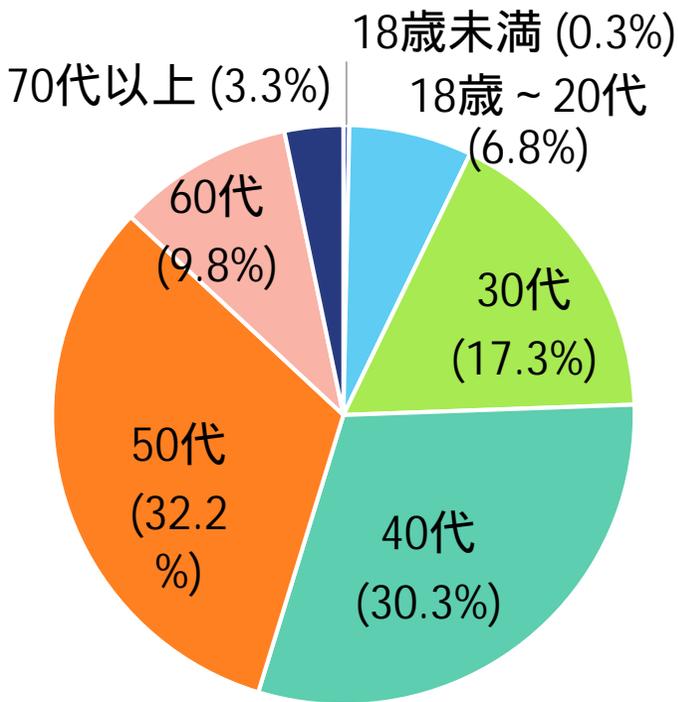
カ そのほか

(5) 自由にご意見をお書きください(自由記入欄)

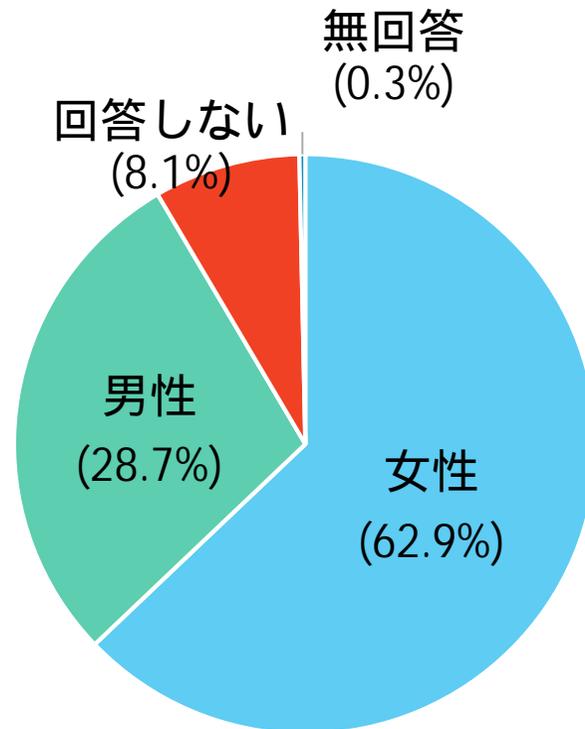
その他、年齢・性別・職業・生殖補助医療の経験に関する質問。

# 回答者の背景

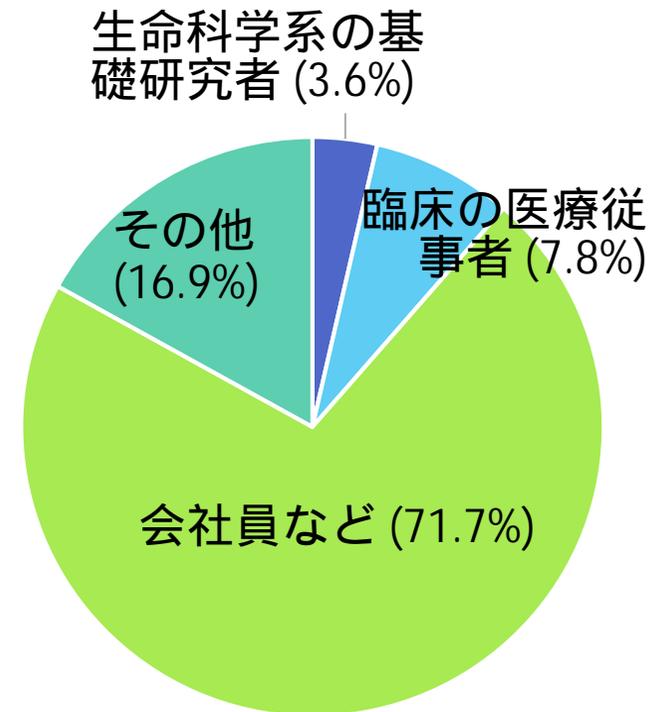
## 年齢



## 性別

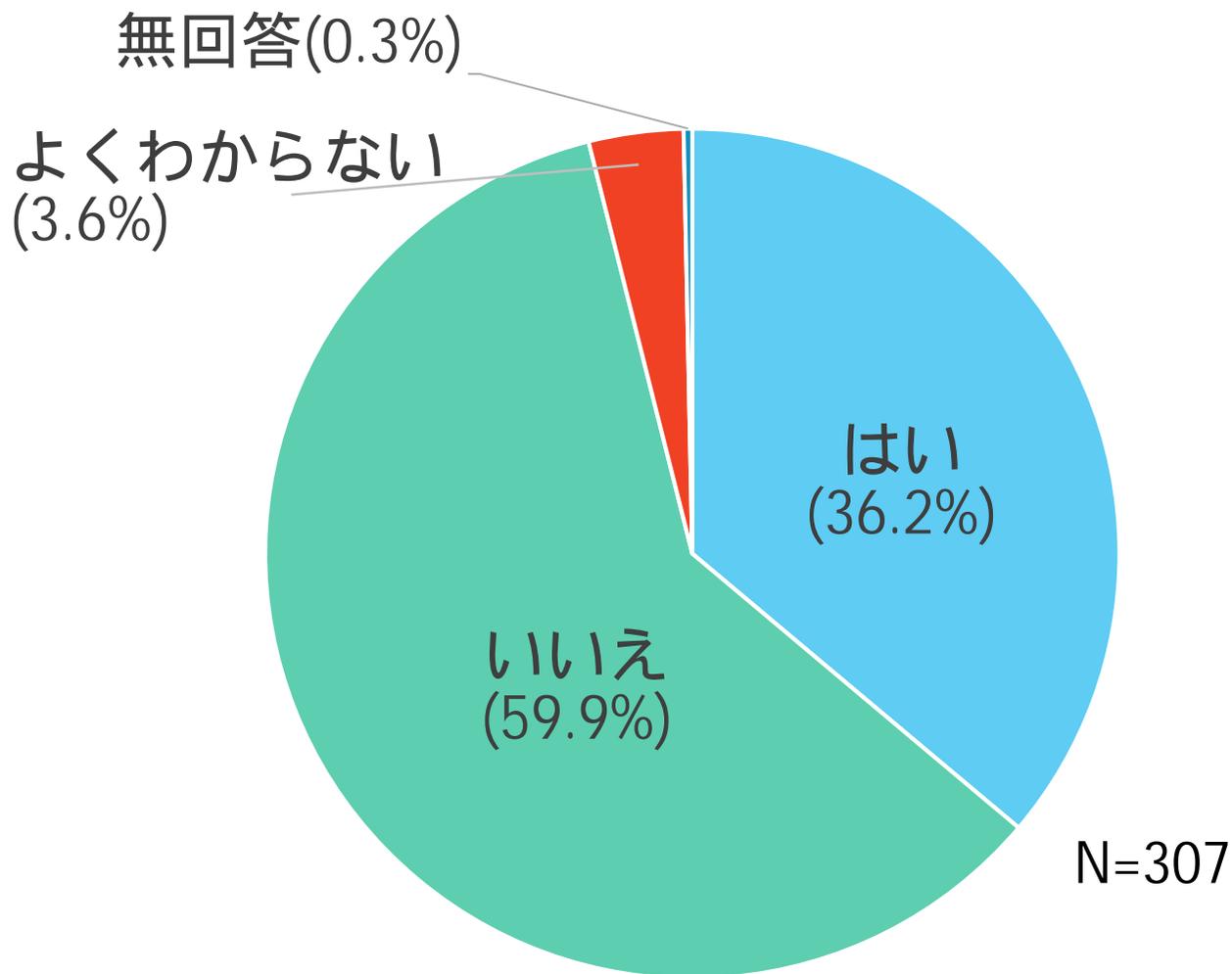


## 職業

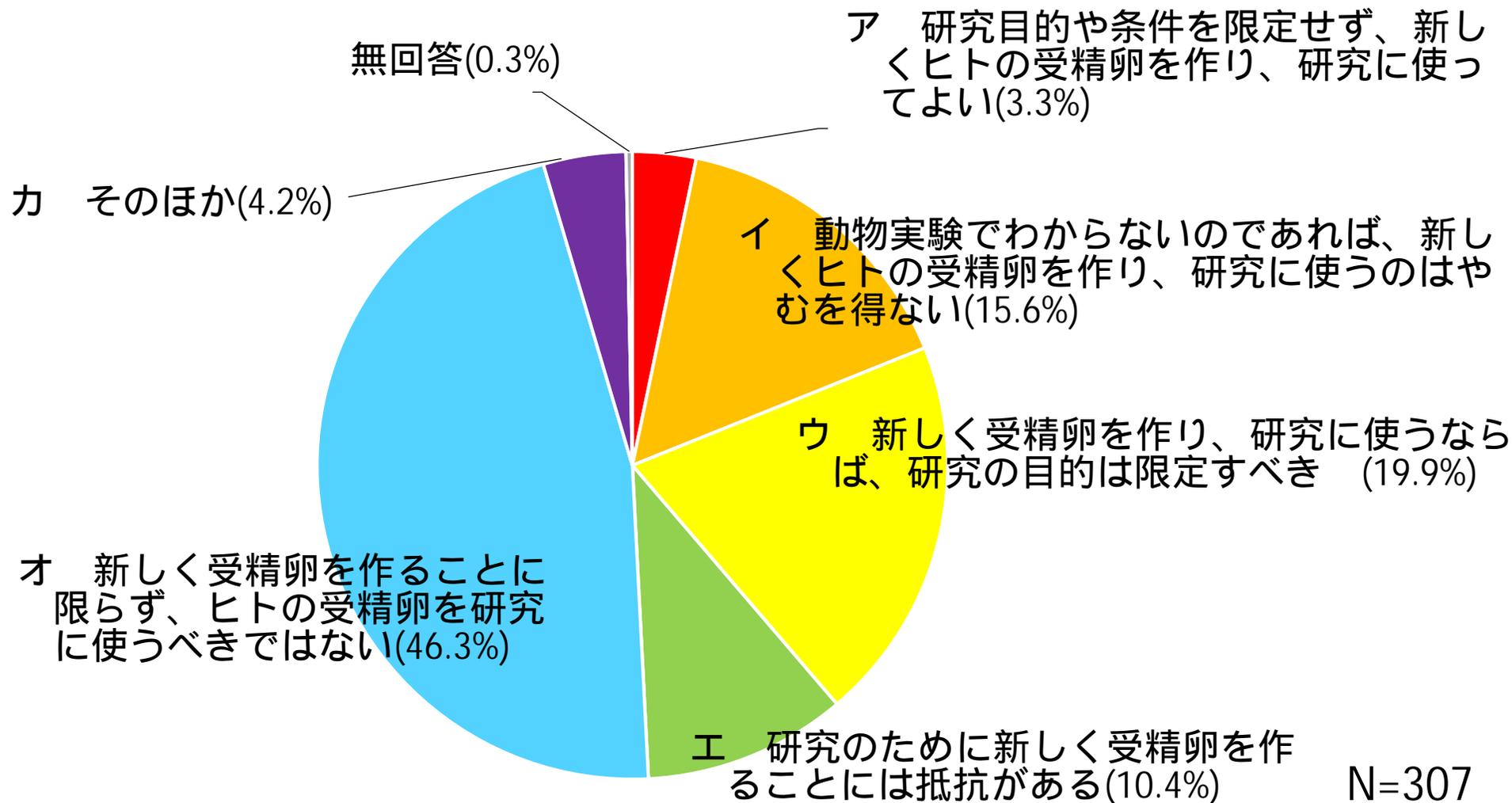


N=307

( 1 ) 日本では、ヒトの受精卵を研究に使うことを、一定の条件のもとで一部認めています。このことをご存知でしたか



## ( 2 ) 研究のために新しく受精卵を作り、研究に使うことをどう 思いますか？



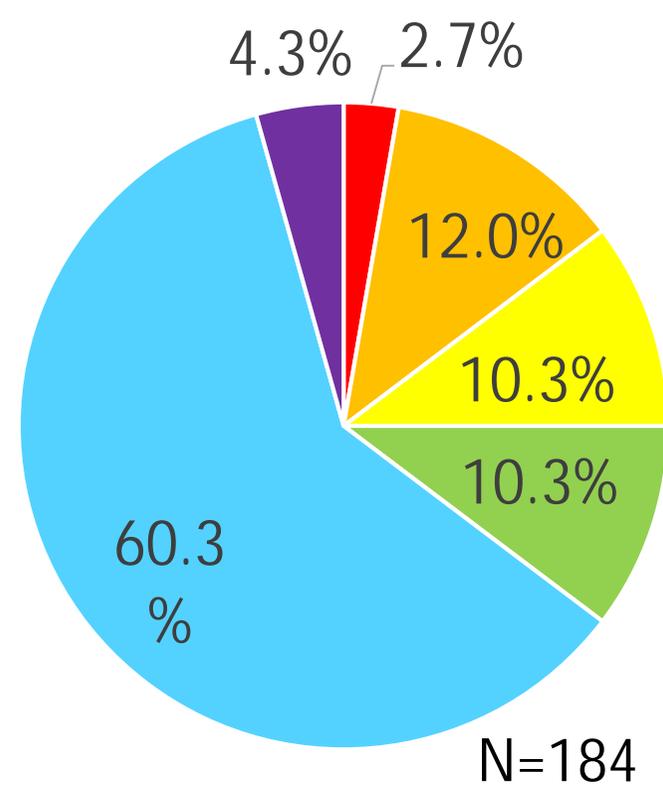
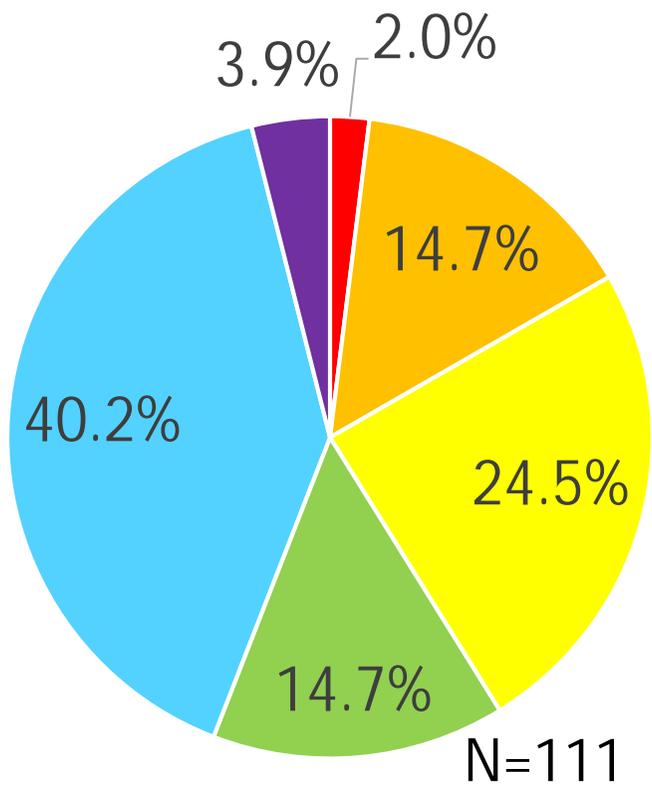
## ( 2 ) 研究のために新しく受精卵を作り、研究に使うことをどう 思いますか？

( 1 ) の「日本では、ヒトの受精卵を研究に使うことを、一定の条件のもと  
 で一部認めています。このことをご存知でしたか」に対して、

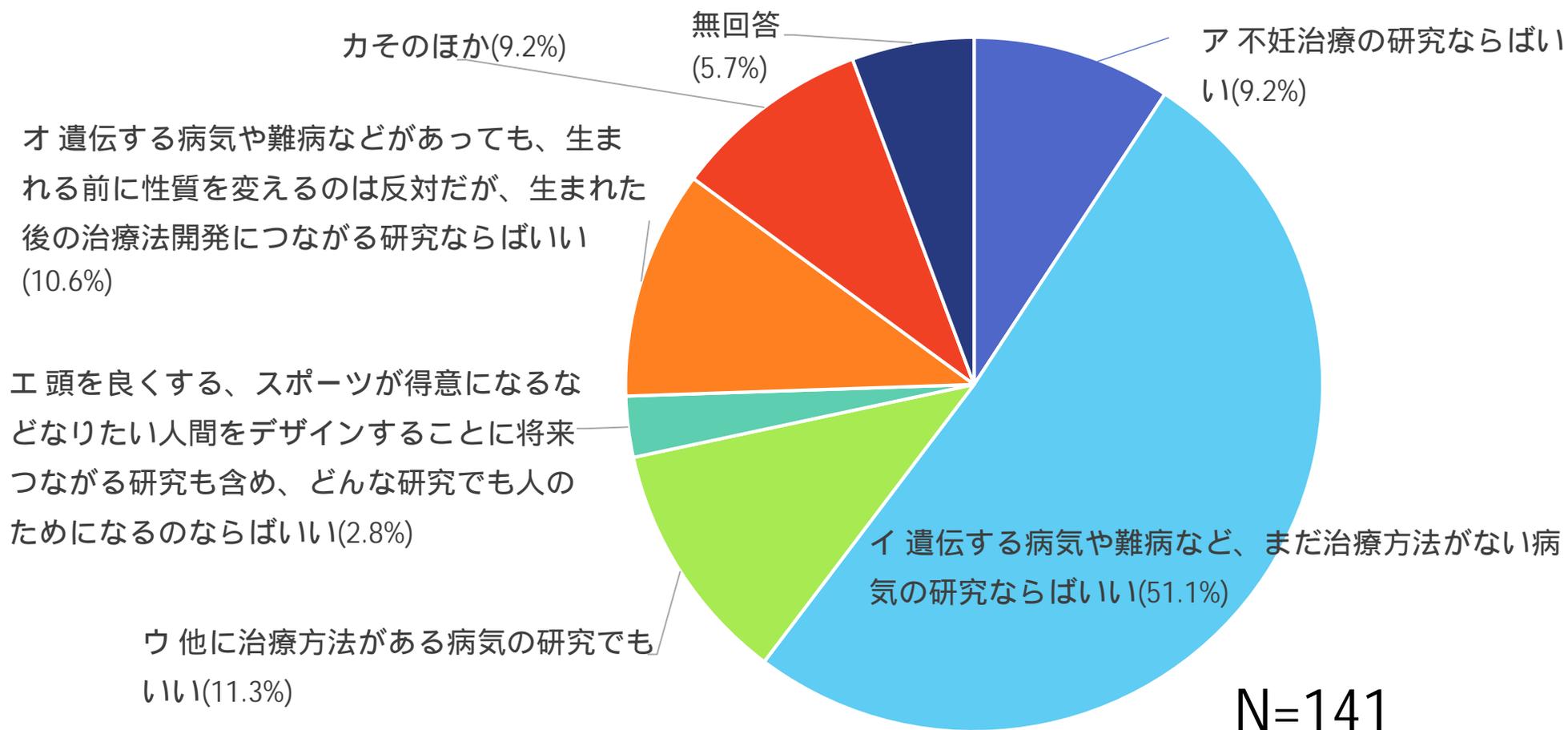
- ア 研究目的や条件を限定せず、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使ってよい
- イ 動物実験でわからないのであれば、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使うのはやむを得ない
- ウ 新しく受精卵を作り、研究に使うならば、研究の目的は限定すべき
- エ 研究のために新しく受精卵を作ることは抵抗がある
- オ 新しく受精卵を作ることに限らず、ヒトの受精卵を研究に使うべきではない
- カ そのほか

「はい」と答えた方

「いいえ」と答えた方

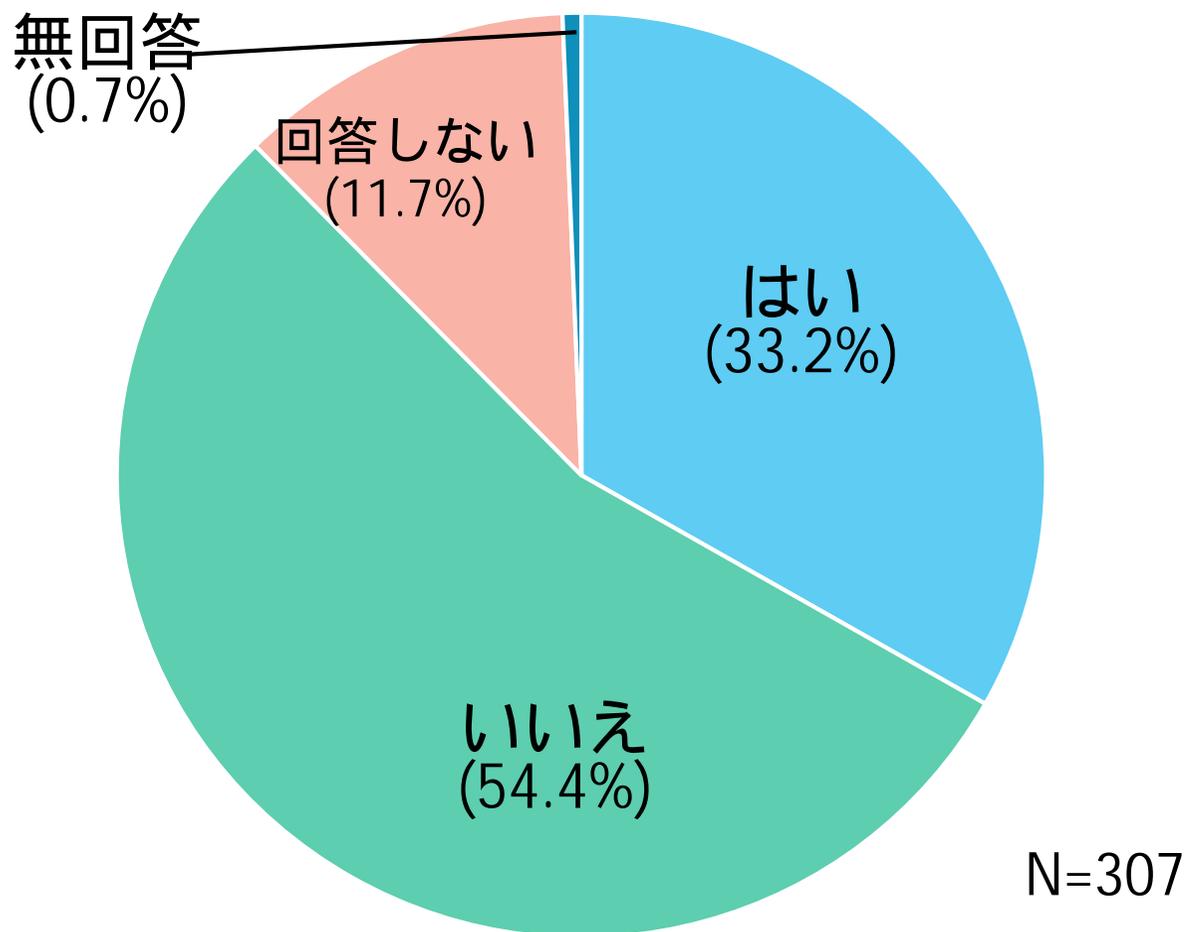


## (4) どのような研究目的ならば、新しく受精卵を作り、研究に使ってもよいと思いますか？



(2)でイ、ウ又はエを選んだ方

ご自身または身近な人が生殖補助医療（いわゆる不妊治療）を受けたことがありますか？

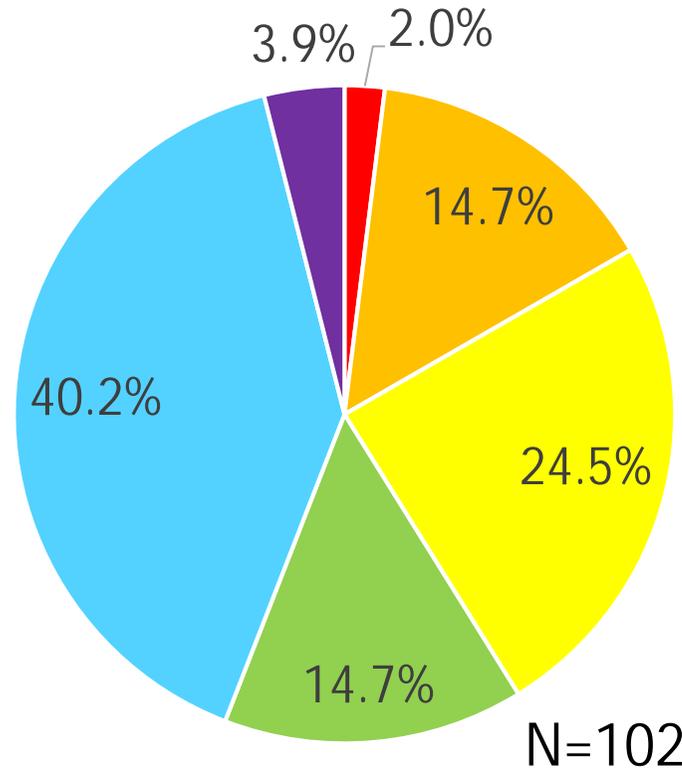


## ( 2 ) 研究のために新しく受精卵を作り、研究に使うことをどう思いますか？

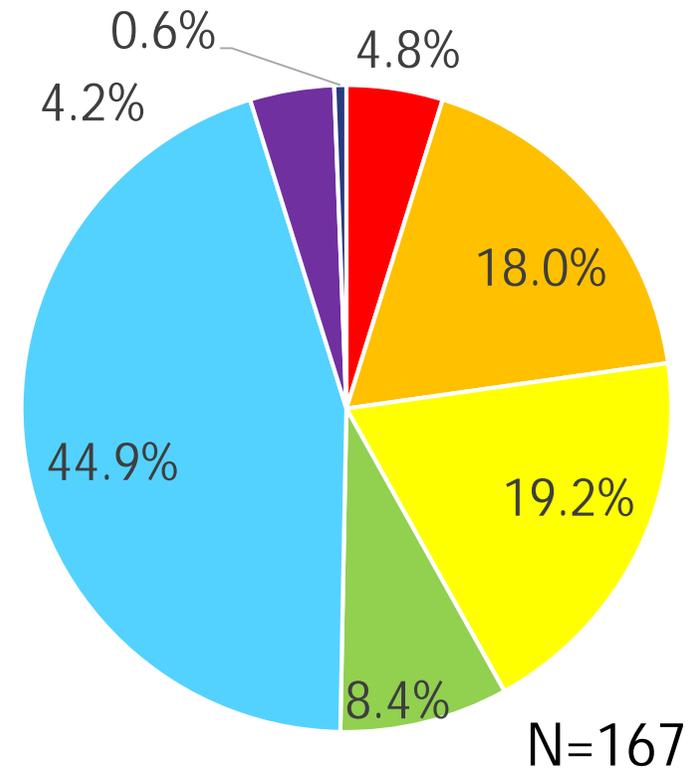
- ア 研究目的や条件を限定せず、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使うてよい
- イ 動物実験でわからないのであれば、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使うのはやむを得ない
- ウ 新しく受精卵を作り、研究に使うならば、研究の目的は限定すべき
- エ 研究のために新しく受精卵を作ることは抵抗がある
- オ 新しく受精卵を作ることに限らず、ヒトの受精卵を研究に使うべきではない
- カ そのほか

( 2 ) の「ご自身または身近な人が生殖補助医療(いわゆる不妊治療)を受けたことがありますか？」に対して

「はい」と答えた方



「いいえ」と答えた方



## (2)の「研究のために新しく受精卵を作り、研究に使うことをどう思いますか?」という質問について

「エ 研究のために新しく受精卵を作ることは抵抗がある」または

「オ 新しく受精卵を作ることに限らず、ヒトの受精卵を研究に使うべきではない」と答えた方の自由記入例

- 自然の摂理と倫理を尊重せよ。人は神にはなれません。
- 受精した時点で生命と考えます。研究のためとはいえ、生命を疎かにすることには抵抗があります。
- 人が入って良い領域があるはずですが、そこを越えることは、あってはならない。このようなアンケートの題に上がる事も信じられない。良識を持って下さい。
- 絶対反対です。今の内閣府に非常に憤りを感じます。
- 受精卵は立派な命と受け取ります。私の受精卵、私の子どもが研究材料に...と考えたら、とても耐えられないことです。母親なら誰でもそう思います。人としてしてはならないと思います。
- 不妊治療を受けていました。現代の医学を持っててもまだまだ人の体にはわからないことや不可能なことがある。そう実感しました。この経験は私にとって単なる悲しみだけではなく、思考の変化、生きる糧ともなりました。研究が進み、新しいことがわかることは希望ですが、命より尊いものはない、という感覚と、現代の医学を持っててもわからないことがある、という事実はセットなのではないか、と思います。(中略)大変なことです、自然界には勝てないということも人間には必要ではないか。そういった考えから、現行の段階までで十分なのではないかと考えました。
- (前略)この問題の本質は、「必ず滅失される運命にあるヒト胚(人間の生命の萌芽)をわざわざ作成し、利用して人類の役に立てるのはどうか?」という問いであると思います。その議論をすることが大切であり、ここで科学的合理性について社会に説明してアンケートをとるだけでは不十分だと思います。いくら科学的合理性があっても、倫理的に認められないこともあります。ひとつ例をあげると、これまで生命倫理専門調査会はその基本的考え方の中で「(ヒト受精胚の取り扱い)人間の道具化・手段化の懸念をもたらしないう、適切な歯止めを設けることが必要」といっています。私はヒト受精胚を研究のために作って、利用し、滅失することは、人間の道具化・手段化、だから人間の尊厳を傷つける、それゆえに許されないと考えます。
- (前略)中々万人にとってのひとつの正しい解というものが出しにくい問題なのだろうと思っています。しかしながら、個々人としての意見は割れたとしても、集団としての我々全体として、現時点でどういう倫理観を選択するのか?これは大事な選択だと思います。我々の後の世代のためにも、ここで安易な決定を下さず議論を尽くし、きちんとした足跡を残して欲しいと思います。

## (2)の「研究のために新しく受精卵を作り、研究に使うことをどう思いますか?」という質問について

- 「ア 研究目的や条件を限定せず、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使ってよい」、
- 「イ 動物実験でわからないのであれば、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使うのはやむを得ない」、
- 「ウ 新しく受精卵を作り、研究に使うならば、研究の目的は限定すべき」または
- 「カ そのほか」 と答えた方の自由記入例

- 新しく受精卵を作り研究に使用する場合、研究者などによって解釈が異なってはならず、研究目的を限定するだけでなく第3者など客観的立場による評価も行う必要があると考える。また、隠れて研究を実施するケースも想定されるので、そのようなケースへの対応も規定していく必要があると考える。
- 受精卵や生殖細胞を提供する人が説明を受けて納得しているのであれば研究利用も許容できない訳ではないが、本当に胚を使わなければ目的を達成できない研究であるかは、丁寧に議論されるべき。
- 受精卵の研究に限らず、一部の研究を除いては動物実験の結果をヒトに外挿することは難しいと考えられているため、ヒトの発生を研究するために、ヒト受精卵を使う必要があることは十分理解できる。また、余剰胚で研究できない発生初期を研究するために、新規胚を作成することも理解できる。
- たくさんの方が悩む妊娠や不妊のテーマなので、研究が進んでもっと医療に役立てて欲しいと願います。
- まだまだ一般的には馴染みが薄い為か、SF映画や漫画で使われている言葉と現実に行われている事を混同されている方が多いと感じます。実現が可能だから実現出来る可能性があるから全て行うは違うと思いますが、反対されている方のご意見だけでは救われる方の絶対数は少なくなってしまうと思います。
- 家族に優性遺伝による難病指定患者がいます。不妊治療以外にも医療の発展のために研究をしていくべきと考えます。
- 不妊や難病などのための研究で、かつ、動物実験でわからないものの研究のためであれば、「厳しいルールのもとでヒトの受精卵を作って研究する」という論理は理解できます。ただどんなに厳しいルールでも守らなければ意味がなく、大抵のルールは何らかの形で破られる恐れが排除できないと考えています。個人的には、賛成の気持ちはあるものの、意図的に恣意的に人工的につくられた受精卵がヒトとして誕生しかねないという危険性への抵抗感がまだ払拭できません。よって、賛成とも反対とも判断ができかねています。

#### (4)の「どのような研究目的ならば、新しく受精卵を作り、研究に使ってもよいと思いますか？」という質問について

「イ 動物実験でわからないのであれば、新しくヒトの受精卵を作り、研究に使うのはやむを得ない」

「ウ 新しく受精卵を作り、研究に使うならば、研究の目的は限定すべき」又は

「エ 研究のために新しく受精卵を作ることには抵抗がある」 と答えた方の自由記入例

- (遺伝性疾患をもつ方の配偶者・抜粋)多くの研究者の方がこの病気を研究を重ねて、様々なことが解ったと思いますが、患者や患者家族が望んでいる治療法がまだ確立されていません。私は家族を守りたい。でも、自分が出来ることは限られています。研究機関にお願いをするしか方法はありません。もう時間がそれほど残されていません。人の尊厳をないがしろにするつもりもないですし、ただ自分の家族を守りたい。その一心だけで、人の受精卵を難病の研究に使うのに賛成します。
- 他に治療方法がある病気でも、根治につながる医学研究なら意義はある・不妊治療の研究は賛成・遺伝する病気や難病を生まれる前に性質を変えることについては病気の重さにより許容できるのではないか(何代も遺伝の病気が続き難治であることが事前にわかっている場合など)
- エンハンスメントや、クローン生物の作製など、倫理的に行うべきでないものは規制すべきで、それ以外については禁止するべきではないと思う。受精胚研究やゲノム編集なども含めて、技術はすでにあり、どう使うかが問題であって、目をそらしても仕方が無いと思う。それによって救われうる人にとっては、明らかに選択肢を取り上げることになるし、仮に日本で厳しく規制しても、他国で研究が進み、日本ではその技術が使えなくなってしまうことが起きるのではないか(そして、他国の人で研究するならいいのだ、という主張は、明らかな種差別だと思ふ。)。良いか悪いかの議論は終わることがなく、みんなで議論してもいいと思うが、そろそろ「どう線引きするか」の議論に集中して、メリットを最大化し、不利益を減らすと言うことに注力すべきだと思う。
- 現在すでにある治療法が最善のものであるとは限らないので確かめることができる手段として有用かと。頭を良くする、スポーツが得意になるなどのデザイン的な介入はされるべきではないと思う。集団としての得手不得手のバランスについて現状が最良であるとは思わないが、それがさらに大きく偏る可能性についてはむしろ恐怖が大きい。
- 生きる為以外に新たな生命が作られる事に単純に怖い、嫌だと感じます。ただ、そのことが今後の不妊治療や他の医療の発展に繋がるならば有益なことで認められるべき事なのかなとも思います。私の子は発達障害ですが、もしかしたら今後そのような研究にも役立たされ、この子の障害を軽くするような良い方法が見つかるかもしれないとも思いました。でも凄く自分本位な気がします。抵抗がありますが、反対ではないです。